

# 『草すべり』寸評

- ・勢いのある急展開、そして底抜けのあかるさ
- ・弦楽四重奏の和音の厚み——あちこちで同じ音を重ねている
- ・たのしく野原を駆けまわって滑りまくる——それをみまもる
- ・順次進行 (m.9) と分散和音 (m.10-11) の対比があざやか
- ・メロディに付された *sf* がとても効果的

完成度をさらに上げるために

- ・Va.はハ音記号  $\text{C}$  で記譜するのが一般的
- ・m.4 b.2 チェロもG#で記譜かな
- ・発想標語 *Anmato* → **Animato**
- ・m.16 b.1-2 Vn.I スラーをぜひつけたい
- ・m.16 b.4 第3音をふくめた主和音にしたいところ
- ・m.1 b.3 Vn.I と II で音を交替させ、メロディを埋没させたのはどんな意図からかな
- ・m.5 Va.の伴奏の音にVn. I のメロディが埋もれがち
- ・m.15 全員で *subito p* にしてもおもしろいかも  
→くりかえしの2回目でディナーミクを弱める、バロック時代に多い

ウキウキ気分がギョウギョウ詰まっていますね。

持麿 勉